

2020年度  
大学女性協会国内奨学生のお話を聴く会  
2021年1月18日 15:45～ オンライン開催

# 上代日本語の文字表記

——上代特殊仮名遣いを中心として——

軽部 利恵 かるべりえ

大学女性協会2020年度国内奨学生  
奈良女子大学大学院博士後期課程2回  
日本学術振興会特別研究員（DC1）

# 研究の概要

- 万葉仮名
- 文字資料
- ことば

# 上代の文字表記

# 上代とは

- 上つ代、はるか昔、古代  
奈良時代を中心とした時代区分の一つ

# 万葉集

西本願寺本（鎌倉時代後期の写本）

詠花

風散花橋カサハナハシ袖受而スベテ為君御跡ミコノミソト思鶴鴨オモヒツルカモ

風散 花橋疊 袖受而 為君御跡 思鶴鴨

卷10・一九六六

風に散る 花橋を 袖に受けて 君が御跡と 偲  
ひつるかも

多知波奈乃之多布久可是乃可具波志伎都久波  
能夜麻乎古比須安良米可毛  
右一首助丁古部廣方

多知波奈乃 之多布久可是乃 可具波志伎  
都久波能夜麻乎 古比須安良米可毛

卷20・四三七一

橋の下吹く風の かぐはしき 筑波の山を 恋  
ひずあらめかも

・ 万葉仮名

# 木簡

変体漢文の文書木簡

「地下の正倉院展 長屋王家木簡の世界」



當月廿一日 御田蒔竟 大御飯米倉古稻  
移依而不得収 故卿等急下坐宜

当月二一日、御田蒔り竟る。大御飯の米倉は古  
稻を移すに依りて、収むること得ず。故、卿ら  
急ぎ下し坐すべし。

## 歌の木簡

「馬場南遺跡出土遺物記者発表資料」



阿支波支乃之 多波毛美智

秋萩の 下葉もみち……

・ 漢文 万葉仮名

# 万葉集

- 編纂された歌集

内容 歌

形態 紙 卷子本→写本

目的 歌の記録

編纂当時のものは現存していない

# 木簡

- 出土する文字資料

内容 行政文書 習書 歌

形態 木

用途 一時的な記録

折って捨てられたもの 文字部分が削られたもの



# 仏足石歌

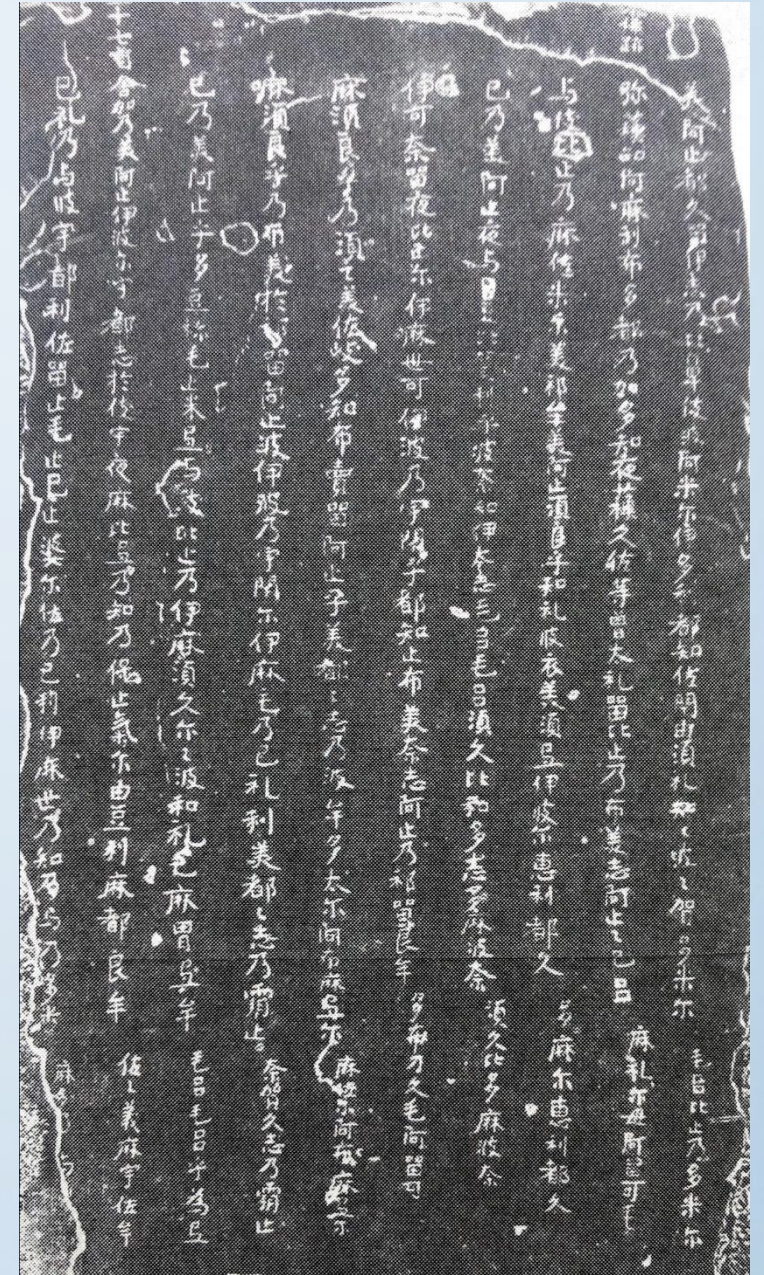
- 歌碑

内容 御仏の足跡をたたえる歌

形態 石

目的 歌の記録

文字の一部に剥落がある



上代特殊仮名遣い

# 概説

## 万葉仮名による音の区別

甲類 乙類 キ ヒ ミ ケ ヘ メ コ ソ ト ノ モ ヨ ロ ギ ビ ゲ ベ ゴ ソ ト

本居宣長 石塚龍麿 橋本進吉 大野晋

### 甲類

恋 古非 故非

子 古 故

### 乙類

心 許己呂 己許呂

此 許 己

# 問題の所在

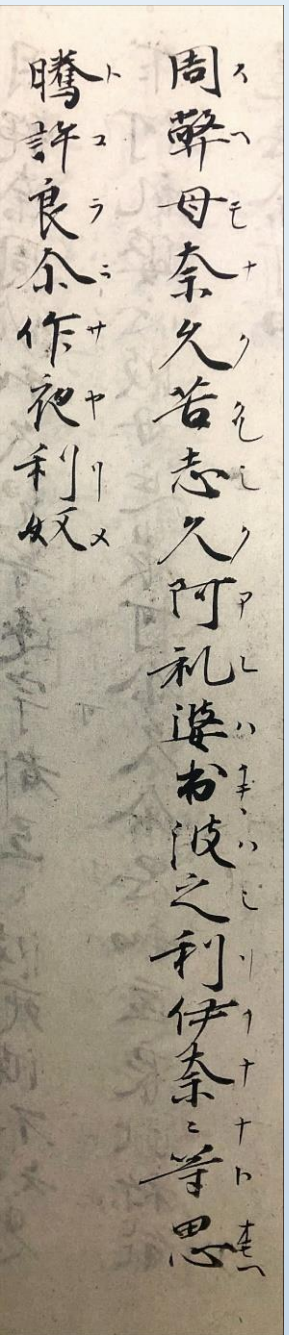
## 上代特殊仮名遣いの区別

厳密 仮名の違い = 音の違い

ゆるい 仮名の違い  $\neq$  音の違い

資料の性質とどのように関わるのか？

# 万葉集の「違例」



術も無く 苦しくあれば 出で走り  
いななと思へど 子らに障りぬ

卷5・八九九 老身重病経年辛苦及思兒等歌

許良尔佐夜利奴 乙類

子らに障りぬ 甲類

此らに障りぬ 乙類

「違例」はわずかにある

# 木簡の「違例」



「地下の正倉院展 コトバと木簡」

津玖余々美宇我礼

月夜好み 浮かれ……

月夜 甲類

津玖余 乙類

「違例」が目立つ

# 仏足石歌の「違例」

慕佛跡

美阿止都久留 伊志乃比鼻伎波 阿米尔伊多利  
都知佐閑由須礼 知々波々賀多米尔 毛呂比止  
乃多米尔

仏跡を慕う

御あと作る

石の響きは 天に至り 土

さへ揺すれ

父母がために 諸人のために

安刀毛奈吉 与能比登尔之弓 万葉集卷15・三六二五

行く水の帰らぬ如く 吹く風の見えぬが  
如く あとともなき世の人にして……

跡 安刀 甲類

阿止 乙類

「違例」が多い

# 資料性と「違例」



# 資料性と「違例」

	万葉集	木簡	仏足石歌
内容	歌	歌	歌
形態	紙	木	石
目的	後世に残す記録	実用 廃棄する	後世に残す記録
「違例」	僅か	目立つ	多い

# 先行論

犬飼隆『木簡による日本語書記史【2011増訂版】』笠間書房 2005初版 2011増訂版  
187頁

古事記と木簡 「天皇に献上する「晴」の文献に対して、日常ふだんに使い捨てる「褻」のもの、  
という相違は、漢字使用の相違にも明瞭にあらわれている」

乾善彦『日本語書記用文体の成立基盤』塙書房 2017 194頁

万葉集 「日常の文字生活からはやや離れたところに位置するもの」

	文献	文字生活
万葉集	晴	非日常
木簡	褻	日常

# 仏足石歌の位置づけ

- 位置づけが曖昧

後世に残すための記録

上代特殊仮名遣いがあまり区別されていない

資料性と文字表記の関係を検討する

# 資料性と「違例」の関係

## 万葉集 木簡

文字が記される物質 形態  
享受のされ方 用いられ方

書く態度 = 「違例」のあらわれ方

## 木簡 仏足石歌

物を見ることのできる人たちの間で享受されるもの  
限られたコミュニティで伝わる文字表記

# まとめ

- 上代の文字 = 漢字
- 万葉仮名
- 上代特殊仮名遣い
- 「違例」 資料ごとのばらつき
- 資料の性質 文献の形態 享受のされ方

ご清聴ありがとうございました。

